

やんは  
ハッ場ダム

2003.7 NO.3

気がついたその時が  
方向転換の時

群馬脱ダム宣言



ハッ場より工事が進行している川辺川が  
「平成の農民一揆」で注目を集めています。

ハッ場で一揆を起こすべきなのは  
税金を払わされ、質の悪い水を供給される  
私たち首都圏住民なのではないでしょうか？

総事業費 2110 億円は、1985 年（18 年前）の試算です。

でも、本体工事どころか、付帯工事も道半ばの現在、  
すでに 1350 億円が使われているのです。

最終的に、総事業費が 5000 億円を優に超え、  
全国一の金食いダムになることは必定です。

## 孫子の代までも

### 巨大な負の遺産を残さない

● ハッ場ダムを考える会代表 樽谷 修

\* **治水や利水という名目は崩れました。**

首都圏では、人口も工業用水の使用量も頭打ちです。

もう今以上に水は必要ありません。



\* **ダムの本体工事を中止すべきです。**

水没予定地の人たちの半世紀にわたる生活破壊に対して、国は十分に補償すべきです。今まで作った道路は、生活用として整備する必要があります。新しい基準での環境アセスメントも行わないまま、JRや道路の付け替え工事が始まっています。生態系の破壊だけではなく、温泉の水源量にどのような影響を与えるか心配です。

また水没地区には、人類の文化遺産である縄文遺跡があります。さらにこの地帯一体の軟弱な地層も気になるところです。国は、これらの問題点に関しての情報公開をしていません。

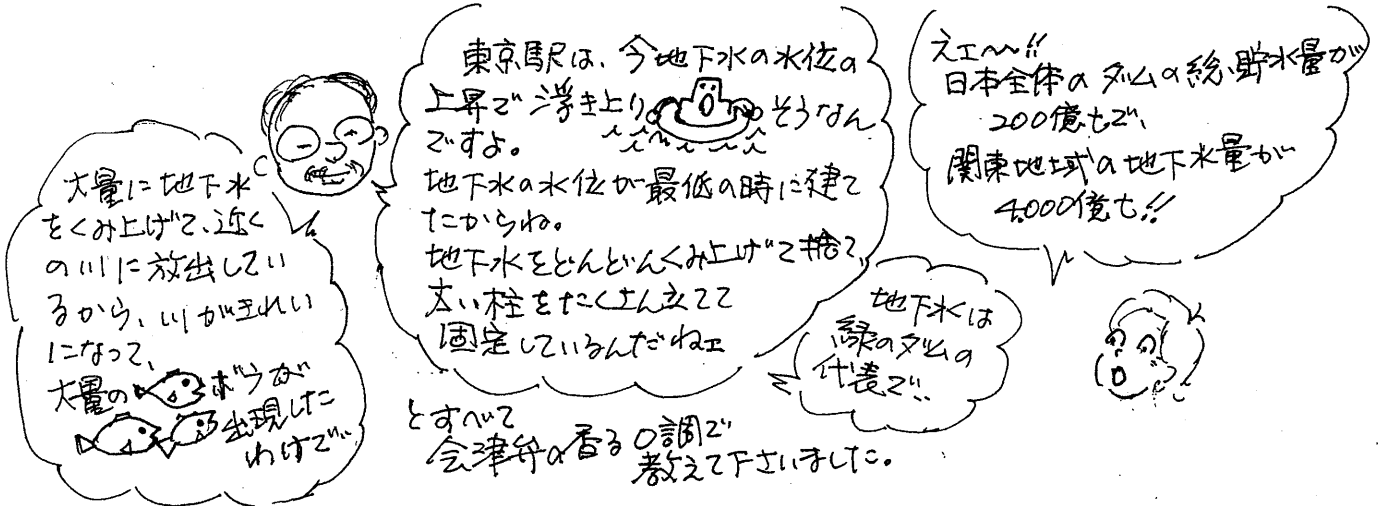
\* **水没予定地の人たちだけの問題ではありません。**

これ以上、国民の血税をムダ使いさせないようにしましょう。今からでも遅くはありません。ダムを建てることで水質は悪化し、群馬県民、首都圏の人たちの水道料金は値上がりします。これは単に群馬だけの問題ではなく、利根川下流首都圏に影響します。私たちは大きな脱ダムネットを作りたいと思っています。

\* **宇宙から見れば、美しいガラスのような地球、壊れやすい地球、生きてい  
る地球の自然を守るのが、私たち大人の責務です。**

気がついた時が、変える時。寿命の短いダムを、21世紀の子どもや孫に負の遺産として残さないよう、政治家や土建官僚に頭の切り替え、発想の転換を求めます。

高崎市で、水についての講演会が開かれました。「地下水について、目からウロコの話が聞けるヨ」と「倉淵ダムを考える会」から声をかけられたわが事務局も、ウメ仕事の合間に出かけてみました。講師は、地質環境研究の第一人者、楡井（にれい）久さん。茨城大学広域水圏環境科学教育研究センターの教授です。前評判どおり、とっても面白かったので、皆さんに講演のポイントだけお伝えします。



## ◎ 地質環境は命のバロメーター ◎

### 水資源を科学する

- ・地盤沈下と駅の浮上、そのどちらも防ぐために、地下水の適正揚水量を科学的に求めることが可能。
  - ・安全な地下水を確保するため、地質汚染を完全浄化する技術も確立されている。
- 市民が科学的な視点を持ち、責任をもって社会のありかたを選択するために、行政に環境に関する完全な情報公開を求める。地質環境を保全する中小の環境ベンチャー・ビジネスを地域で育成していくことも、かけがえのない水資源を守るために有効。

### 地下水は日本列島のかげがえのない環境資源

首都圏の地質環境中には、六価クロムなどの重金属類、有機溶剤さらにはダイオキシン、放射性物質などが広く伏在している。

地質汚染が心配だから、飲み水は地下水より河川水をとという動きがある。だが、汚染された地下水は湧き水として地表に流出し、汚染された地下空気は大気をも汚染する。私たちは汚れた大地の上では生きていられない。

今は...

地下水を使わない → 地質汚染を放置 → いのちの危機

ふんばらば...

地下水を飲み水として使う → ために → 地質汚染を除去 → 健全な水循環の再生  
→ 地質汚染 → 21世紀の豊かな環境の創造



# ハッ場ダムをストップさせる埼玉の会

## ついに発足!

6月8日、旧浦和市役所前の喫茶店「土瑠茶」の2階に、オーナー夫人の中平順子さんの呼びかけで、12人が初めて集まりました。

20年以上水問題を研究し、ダム反対を訴えてきた嶋津暉之さん（なんと埼玉県在住でした）から、ハッ場ダムについて説明を受け...



**えエ〜!!** 水が足りなくて、寝るに水、目からうろこがぱらぱらですヨ。県議会では、「水は足りないんだ」という大前提で、水対策を議論してきたんだもの。すんっと。

前県議・現さいたま市議 岡田

**知** らないということば、う〜ん改めて、大変なことなんだと思いましたが、水位の下からダム映像に、ああ、水が足りないんだって...

80代の現役作家 石田基太郎

**じゃあ、私たちがとしては、** どうしてにらいいのかわ、何かができるかっていうことだし。

- もっとよく知る
- みんなに知らせる
- 議会で質問する
- 監査請求をする
- それから...

とにかく、できることをしよう。

さいたま市議 赤野

**ハッ場ダムを今まで聞いてこ** ともなかったですヨ。私たちが足もとにこんなダム問題があったなんて...

じゃあ、埼玉県α私たちが税金ももう使われているんですけどすよね!?

さいたま市ネットワーク 藤水

**ハッ場ダムが止まれば、** それは、社会に大きな時代の転換点になりますよ。明治維新を越えるような。

朝日新聞本社記者 T

### ハッ場ダムをストップさせる 埼玉学習会

— 嶋津暉之さんを囲んで —

日時： 9月20日(土) 13:30~

会場： 北浦和駅から徒歩2~3分  
クイーンズ伊勢丹3階  
カルタスホール第3会議室

問い合わせ先：  
Tel 048-861-1755 土瑠茶  
Tel 048-825-3291  
生活者ネットワークさいたま市

「ハッ場ダムをストップさせる埼玉の会」が発足したとたんに、長野の田中知事の唱えた知事任期3期説に猛反対した、土屋埼玉県知事の辞職という事態が起きました。脱ダム知事の誕生が待たれますね。

# 水はあまっている！

## 日本の人口のピークは2006年

最近の脱ダムのうねりを見ていると、隔世の感がありますね。八ッ場の地元の人に『ダム反対なんて、なにを今さら。都会の人たちのために犠牲を払えと言われ続けてきたのに』と言われると、本当に胸が痛くなります。でも、要らないものは、やっぱり要らないんです

我らがダム問題のつらつら **嶋津暉** さんを紹介します。

「首都圏の水問題を考える市民と議員の会」、  
「水源開発問題全国連絡会」の中心にあって、  
全国の「水源開発問題の技術的な解析を行っている」。  
東京都環境科学研究所主任研究員。  
著書「水問題原論」（北斗出版）ほか。



### 減り続ける水需要

ダム建設の最大の理由は、増加する都市用水の需要をみたすことにあった。首都圏は人口集中などで水の需要が増加し続けるから、ダム建設を進めないと大変な水飢饉がやってくると言われた。確かに高度経済成長時代は水道用水、工業用水とも急速に増加した。だが都市用水が増え続けたのはバブル経済がはじける1990年頃まで。東京都の水道用水にいたっては、1971年頃から横ばいが続き、最近10年間は漸減の傾向にある。

### 首都圏の人口も減っていく

日本の総人口は2006年にピークを迎える。首都圏の人口も2010年にはほぼ頭打ちとなり、2015年以降は次第に減少していく（国立社会保障・人口問題研究所の最新の推計）。したがって、首都圏の水

道用水がやがて漸減傾向に向かうことは必至である。

一方、工業用水についても、今後、減ることはあっても増えることはない。背景には、水を大量に消費する重厚長大型産業から、水をあまり使わない軽薄短小型産業へという産業構造の変化がある。

また、農業用水に関しても、水田面積が大幅に減少して、水田用水の必要量は小さくなってきている。

### ダムを造ればさらに水があまる

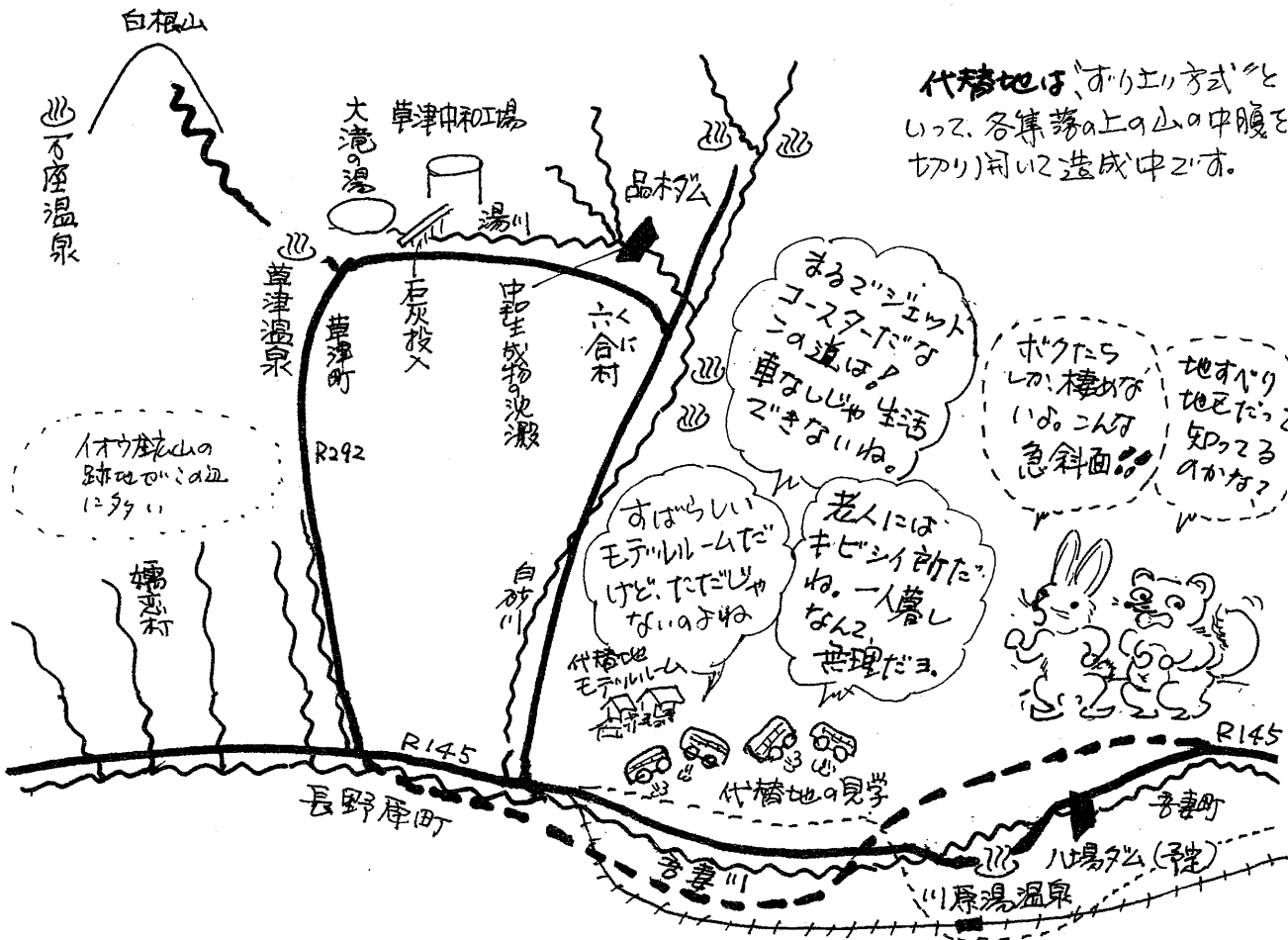
このように、首都圏においても利水面であらたなダム建設の必要性は失われた。それにもかかわらず、利根川水系では多くの水源開発事業が計画され、工事が進められている。その代表的な事業が八ッ場ダムである。

# 東京水道労働組合の皆さんの 八ッ場ダム現地見学会

6月14日

(約100名+マイクロバス4台)

事務局3名同行して





## ●水を使うためには、中和するしか●

吾妻川は、白根火山・温泉水・硫黄鉱山跡地などが原因の強酸性河川。一日50~60トンの石灰を投入して中和し、発電や、下流のさまざまな生活用水に利用しています。


ところが、中和生成物(有害重金属類も含む)の沈殿池の品木ダムは、堆積物除去作業を続けていても、もう埋まりそう。もし八ッ場ダムが作られれば、沈殿地代わりになり、ダムの寿命は長くないと指摘されています。

- 道路・JR関係の  
ダムに伴う付帯工事として、
- R145の付帯ルート
  - ++++ JR吾妻線の付帯ルート
  - 現在吾妻線は、ほぼR145に添って走ります
  - 渠道林の付帯ルート

## ●川原湯温泉で、夜の交流会●

地元の住民・ 補償交渉が終わったとたんに、  
国交省は、 手のひらを返したようにい  
いかげんに、 不誠実になったんですよ。  
約束の代替地がいつになってもできない。保証金  
を手にした人は、櫛の歯が欠けるように集落から、  
他に引っ越しはじめています…。

嶋津さん・ ダム建設を中止させ  
るための公共事業調査法の制定と、  
ダム計画中止後の生活再健支援法  
の制定が早急に必要なんですよ。

地元の人は、 だれていて、  
●できることなら、ダムは造りたくないと●

# 水道のプロ集団だからわかる 水道行政の裏がわ

—東京水道労働組合の水源地調査見学会資料より—



## 1. ハッ場ダムと多摩の地下水とのつながり

東京西部は良質の地下水に恵まれた地域。現在でも、多摩地区全体の給水量のうち、約3割が地下水を利用している。

地下水の汲み上げを制限した80年代以降、地盤沈下はおさまり、その後、井戸本数は一定量を保っている。阪神大震災や渇水を契機に、地下水は「身近で河川水より水質の良い自己水源」として見直されるようになった。

しかし、東京都は地下水を正規の水源とみなしていない。いまだに地下水に代わる新たな水源としてハッ場ダムに水利権を求めている。自らの水源を保全し、使い続けることを都が正式に決定すれば、ハッ場ダム建設は頓挫する。

地下水はいったん汚染されると処理に手がかかる。だが、地下水を水源として使うことをやめてしまえば、地下水をきれいに保つ必要もなくなる。地下水の汚染は放置され、知らぬ間にとりかえしのつかない事態になるだろう。

## 2. 水資源が市場原理にさらされる時

水資源を石油や鉄鉱石のような鉱物資源とみなす考え方が、世界規模で広がっている。私企業が「名水」の「探掘権」を独占的に買い取り、瓶詰めて世界中で高く売りさばいている。規制がなければ水源地の環境は大きく傷つけられる。

世界的な規模での水資源の不足に目をつければ、日本国内でダム開発を促進し、豊富な水資源を海外で売りさばくということはある。

## 3. 水道に求められる本来の公共性

ペットボトルメーカーは、安全な飲み水をユーザーに一定量提供すれば事足りる。水道・下水道事業の社会的責任は、水源地や河川の環境、それを取り巻く地域社会のあり方に及ぶ。現在、水道事業への民営化の圧力が強まっているが、利用者にとってそれは本当に望ましいことなのだろうか。

八ッ場ダムの工事に伴う遺跡の発掘で、水没予定地の吾妻川兩岸には、縄文時代の遺跡を多数含んだ、十数か所もの遺跡が発見されています。

8000年以上前から、縄文の人々は、八ッ場の豊かな自然の中で、狩猟採集を中心とした自然の循環にすっぽりはまった生活をしていました。

その生活の跡に立ったとき、私たちの耳に、なにが聞こえてくるのでしょうか。

## エコツアー 八ッ場縄文遺跡を歩く

日時： 8月19日(火)  
9時45分集合 10時出発

集合場所： 川原湯温泉駅

参加費 (資料代弁当代を含む)：

大人 1000円  
子供(幼稚園～小学生) 900円

申し込み・問合せ先：

八ッ場ダムを考える会

8月12日までにお申し込みを  
\*特急草津1号 万座鹿沢口行  
川原湯温泉駅着 9:41  
(新前橋発 8:52)

<お昼は、縄文弁当を用意します。>

\*人糞の発酵とともにあつたという雑穀・  
(餅粃、黒米など)を混ぜた

雑穀強飯をおむすび。それに夏野菜、  
木の实、草の実、豆なども使ったおかあしです。

\*もちろん持込み自由、お好きなものを  
食いらぬだけお持ち下さい。





## 配石遺構は縄文人の祈りの場

長野原町は、縄文時代遺跡の宝庫です。遠く縄文人たちは、見事な自然に包まれた吾妻川沿いの台地にムラを営み、豊かな木の実や木の芽、さらには鹿、猪などの動物を狩って生活の糧としていました。こうした人々の生活の跡が次々と発掘調査によって発見されています。

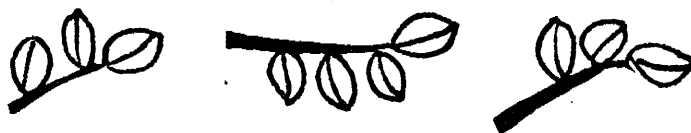
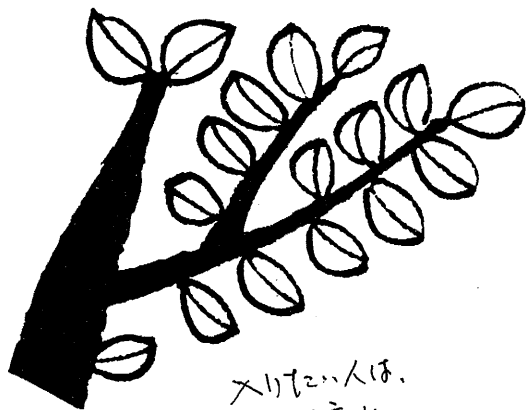
生活の場の中心となる竪穴住居跡、獣を捕るための落とし穴、食糧を蓄えるために掘った貯蔵穴、そしてお墓やお祭りの場所として考えられている配石遺構がみつかっています。

長野原一本松遺跡では、配石遺構の下やまわりから、墓穴や住居跡そして多数の柱穴がみつかっています。これらの遺構は、配石遺構をつくった縄文人たちの生活の跡でもあるのです。いうなれば、普段の生活と「祈り」の生活が一本化した様子が見事に現れた遺跡が長野原一本松遺跡なのです。

横壁中村遺跡は、壮大な「縄文の祈り」を語りかける遺跡です。「祈り」の場と「住まい」の場がどのように関係するのか……。身が引き締まる思いです。

(財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の会報より)

当日は、ハッ場発掘調査事務所の  
の方に案内していただく予定です。



### 縄文遺跡を見学したら ダムの付帯工事現場も見てみよう

#### 見学おおむね計画

- 10:00~12:30 長野原一本松遺跡  
横壁中村遺跡
  - 12:30~13:10 昼食
  - 13:10~15:00 工事現場等の見学
  - 15:10 川原湯温泉駅で一応解散
- 時間に余裕のある方は温泉・散策をお勧めします

- \* 特急草津6号 上野行 川原湯温泉駅発 15:19
- 普通 高崎行 16:08
- 特急草津8号 上野行 川原湯温泉駅発 16:38

\* 宿泊希望の方には宿を紹介します

主催 ハッ場ダムを考える会



# ◆ 今が正念場 ◆ 倉渕ダム問題 ◆

群馬県の玄関口、高崎市。かつて中山道の宿場町として栄えた街は、現在、上越、長野両新幹線の分岐点です。その高崎市がダム問題を争点に揺れています。

市内を流れる烏川上流、長野県との県境に、県は倉渕ダム建設を計画しています。計画地周辺は、ダム建設地の例に漏れず、自然の宝庫であり、食物連鎖の頂点にあるイヌワシの営巣地とされています。県の委託で現場周辺のイヌワシ調査を行っている「日本野鳥の会」県支部は、去る6月20日、小寺知事に3年間の工事休止を求める要望書を提出。県は、一ヶ月前の5月20日に再開したばかりの工事の休止を余儀なくされました。

県河川課は、「委員会を開催して今後の方針を決定する」としていますが、脱ダムの世論が高まる中、同課に対する風当たりは厳しくなる一方です。

高崎市長選では、現職の松浦氏が当選したものの、脱ダム新人候補2氏が善戦。合計得票数が松浦氏を上回りました。選挙後、松浦市長は「県の計画に乗せられただけ」と言い、県は「高崎市が水を必要としているから」と言う。互いに責任を転嫁しあっているばかりで、未だに市民に納得のいく説明はありません。7月の県知事選でも、現職の小寺知事が四選を果たしたものの、選挙期間中も選挙後も、倉渕ダムについては何一つ具体的な発言をしていません。

今、高崎では、倉渕ダムをめぐる市民たちが、前時代的な“お上まかせ”ではない、成熟した行政との関係を模索しています。「高崎の水を考える会」の角田さんに、市民の倉渕ダムへの取組みを報告してもらいました。

XX

**「高崎の水を考える会」** この会は「八ッ場ダムを考える会」の運動が先駆けとなって、二年前に発足しました。その後、住民の自主組織が次々に立ち上がりました。運動の広がりによって、県は本体工事を着工できなくなっています。

**県議会では** 県営ダムについては、3年前の県議会で知事が「再チェック」を約束。その結果、雄川堰ダム（甘楽町）を中止、増田川ダム（松井田町）は規模縮小。ところが倉渕ダムは、規模はそのまま、事業費を245億円から400億円に増大したのです。

**県に資料の公開を求める** 「高崎の水を考える会」（以下「会」）が県に資料公開を求めたところ、慌てた県は、初めに出した資料を別の資料に差し替え。しかしこのことによって、用地買収費を実態の20倍に過大評価し、事業費を水増ししていたこと、洪水被害地域も実際よりはるかに広く見積もっていたことが明らかになったのです。「会」は、県職員を公文書偽造、私文書変造、同行使容疑で告訴。いったん不起訴となりましたが、前橋検察審査会は4月18日、「不起訴不当」の議決。現在、前橋地検の処分が注目されています。

**専門家集団もダムにNO** 「会」では、国土問題研究会（京都）に調査を依頼。他方、別の市民団体は、宇沢弘文東大名誉教授ら専門家による「倉渕ダム再評価委員会」を立ち上げました。どちらの調査結果も、たとえ100年に一度の洪水があったとしても、治水は河川改修で対処できる、利水についても、良質の地下水を切り捨ててダムによる新たな水源の確保をする必要性は全くないとしています。

市民が賢くなるために 様々な情報が飛び交い、科学技術が急速に進歩している現代、何が本当なのかを知り、社会が進む道を誤りなく選択するのは、容易な事ではではありません。高崎の脱ダム運動は、今、正念場を迎えています。ダム問題を単に行政の責任にするのではなく、私たち市民一人一人が学びを深め、人と人とがつながり合い、賢くなることを求められているのだと痛感しています。(角田 凡夫)



会報ありがとうございます。さつそく会員になります。あんな美しい溪谷がダムで埋まってしまうなんて、許せませんね！小平市も受水予定者なら、「見直しを求める意見書」提出を市議会に働きかけることもできるのですね。ばからしい土建政治は何としても止めさせましょう。自然を無残なまでに破壊するダムは、特に！

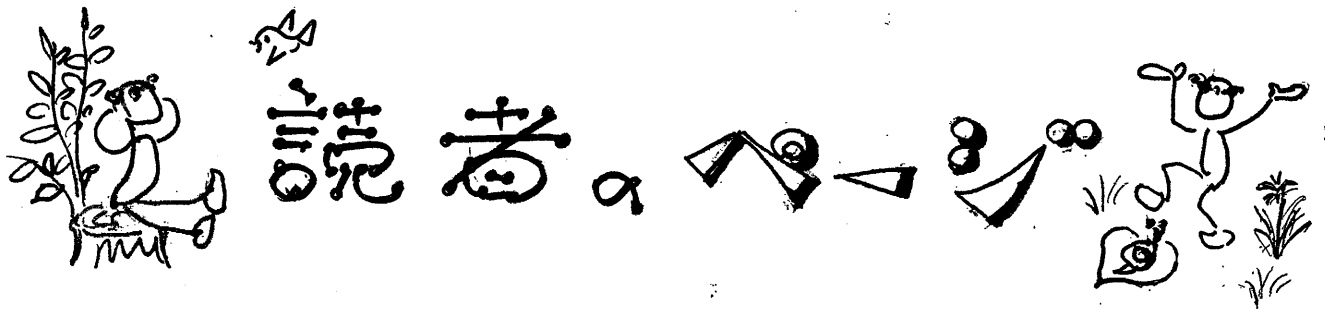
(小平市・深澤)

子ども達の将来のため、自然保護のため八ッ場ダム不要の声を上げてください。

(長野原町・匿名)

いま、多くの人が水を買う時代になってしまいました。私もその一人ですが、お料理に使う水まではとても賄いきれませんが、より安全な水を誰しもが求めていると思いませんし、関心は高い筈です。八ッ場ダムの事実を一般の人々に知らせる事がとても大事です(私はこの会の活動を聞くまで、知りませんでした)。一通りではなく色々な手立てを考えるとよいと思います。特に関係する全家庭に情報が発信できればよいですね。

(世田谷区・ユ)



第一号の八ッ場ダムの歴史はよくまとまっています。わかり易かったと思います。下流域の若い人たちの関心がどの程度高められるかが勝負だと思えます。(大田区・山本)

本体工事はまだのようですが、吾妻線の付け替え工事が始まったように聞きました。早く手を打たないと……気になります。

(葛飾区・長澤)

先日、子供と利根川の支流、湯檜曾(ゆびそ)川で遊んでいて、オオルリをみかけました。久しぶりに感動する光景でした。地元、水上町はこの川沿いにロープウェイ建設を計画しています。上信越国立公園のブナ原生林を伐採して、谷川岳の万年雪が積もる一ノ倉沢へ観光客を誘致しようというものです。バブル崩壊による水上温泉の観光客減少をくい止める策として期待されているようですが、八ッ場ダム計画と同様、愚かしい自然破壊がこの不況下でさらに各地で進行しているようです。環境問題に関心の高い読者の皆さんに、ぜひ反対の声をあげていただきたくお知らせします。

(前橋市・風野)

Q

P

「長崎男児殺害事件」は、人間の欲望の闇を  
私たちの目の前に引きずり出すようなニュースでした。  
こんな恐ろしい事件に出会うと、中学生の親も、幼児の親も、  
子供をどうやって育てたらよいか、わからなくなってしまいます。  
社会の重圧という手カセ足カセがなくなり、自由が無限に与えられた今、  
昔と違って子育ては、  
人間というものが、そもそもどういう生き物なのか  
という基本に立ち返って考えてみることを  
私たちに要求しているのかもしれない。  
男の子は、何も教えなくとも、どこからか棒切れを捜してきて振り回します。  
人間が本能のうちにかかえている  
攻撃性や限りない欲望、不安定感に向き合う時、  
個々の人間が、そして社会全体が  
困難であろうとも、それらをうまくコントロールする術を身につける事が  
自由になったからこそ課せられた現代人への課題なのだと思います。

Q

P

ハッ場ダムは、現在の計画では平成 20 年に完成の予定です。  
けれども本体工事はまだ始まっていません。  
次の時代の命のために、ハッ場ダムをストップさせましょう。

少しでも多くの方に、ハッ場ダムのことを知っていただくために、  
皆さまの貴重な会費で作ったこの会報を、周りの方に回して下さい。  
小さな願いが集まることによって、思いがけない大きな変化が生まれます。

「ハッ場ダムを考える会」会員募集中  
年会費／個人会員 1000 円、団体会員 2000 円  
会員にはイベントのお知らせ、会報を郵送いたします。  
“カンパしてもいいな” という方は、ぜひ下記に。  
〈郵便振替口座番号〉 00550-2-32681